

福島県浜通り地域における 当社の取組みのご紹介と 今後の展望に関して

(株)相双スマートエコカンパニー

2022年1月28日

会社紹介

事業概要

今後の展望

会社概要

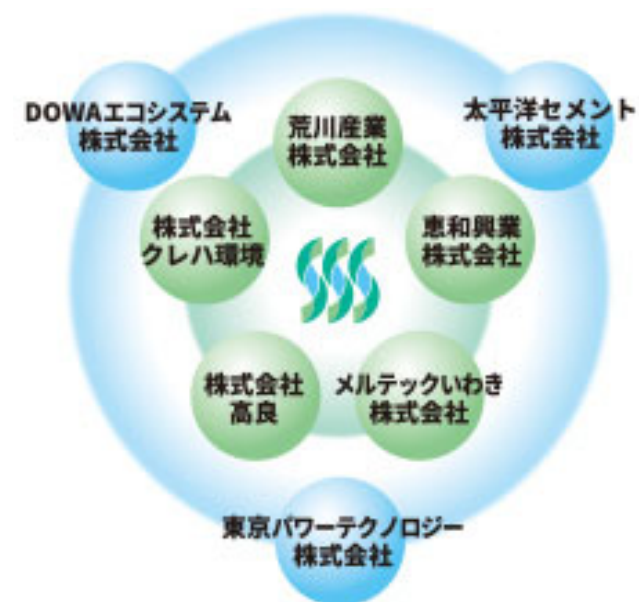
社名 株式会社 相双スマートエコカンパニー

設立 2018年 10月 2日

所在地 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字長者原 1 2 3 番

株主

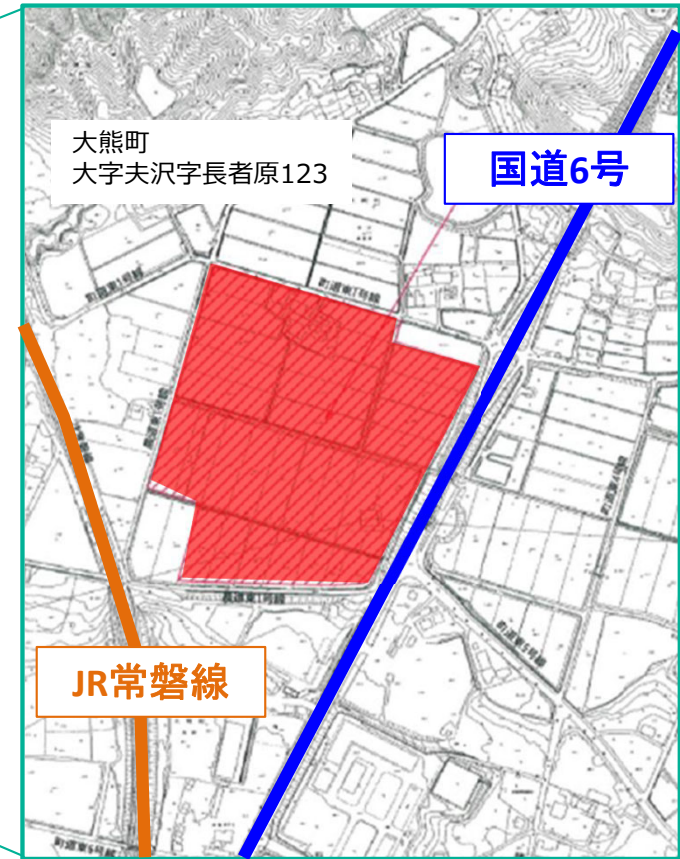
DOWAエコシステム株式会社	60%
太平洋セメント株式会社	10%
クレハ環境株式会社	10%
荒川産業株式会社	4%
恵和興業株式会社	4%
高良株式会社	4%
メルテックいわき株式会社	4%
東京パワーテクノロジー株式会社	4%



事業内容 不燃性廃棄物（コンクリート塊、鉄スクラップ等）の再資源化

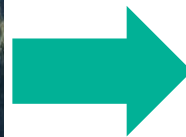
従業員数 44名 （2021年12月11日現在）

所在地



完成写真

建設着工前 (2019/3)



建設直後 (2020/9)



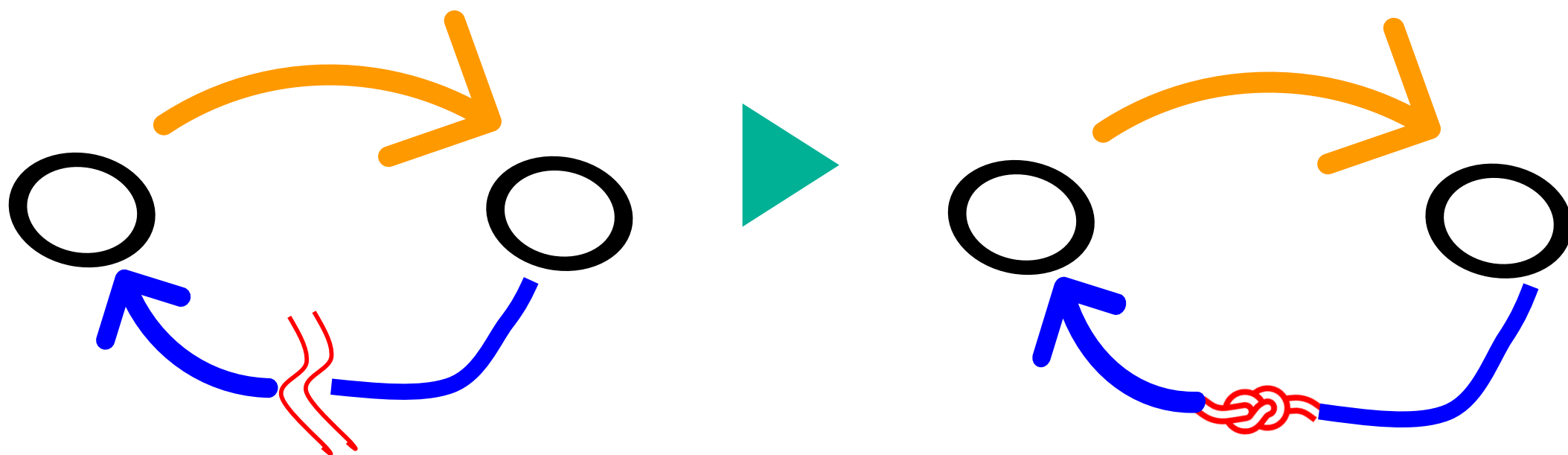
会社紹介

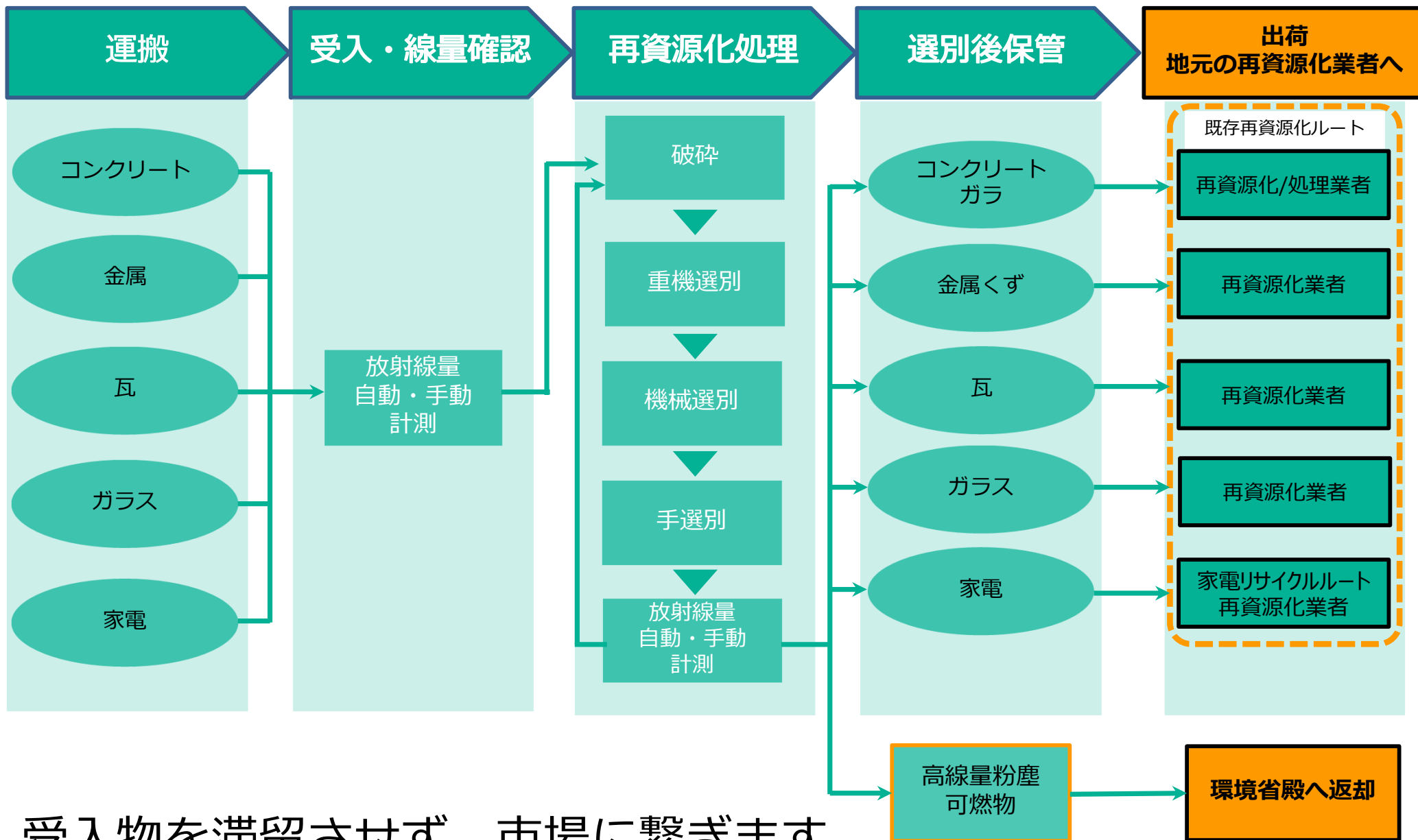
事業概要

今後の展望

相双スマートエコカンパニーは

3.11の災害によって分断された再資源化フローを繋ぐ役目を担います。





受入物を滞留させず、市場に繋がります

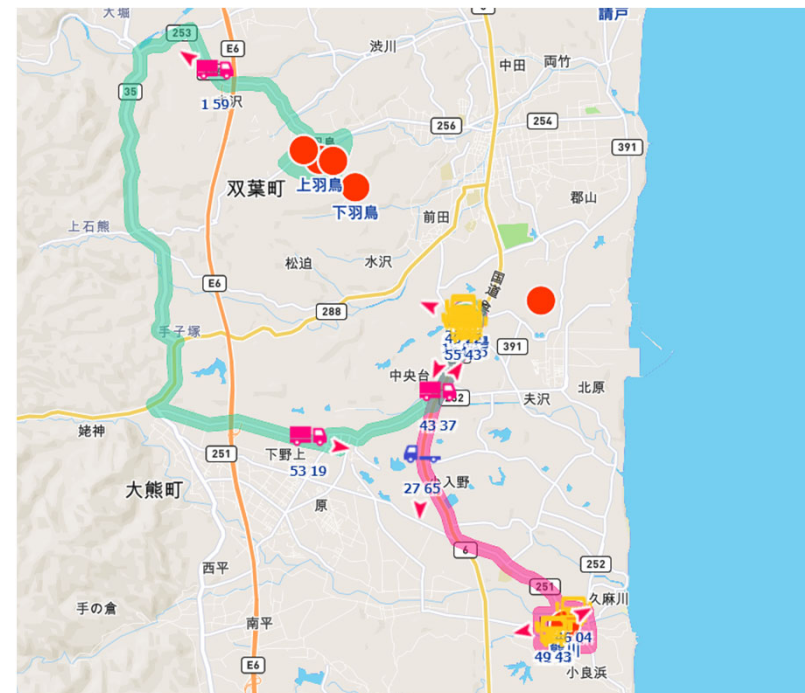
運搬



運搬

運行中はGPSを使用し、常に位置情報を把握しています。

あらかじめ定められたルートからの逸脱・立ち往生などのトラブルがあれば速やかに対応します。



受入・線量確認

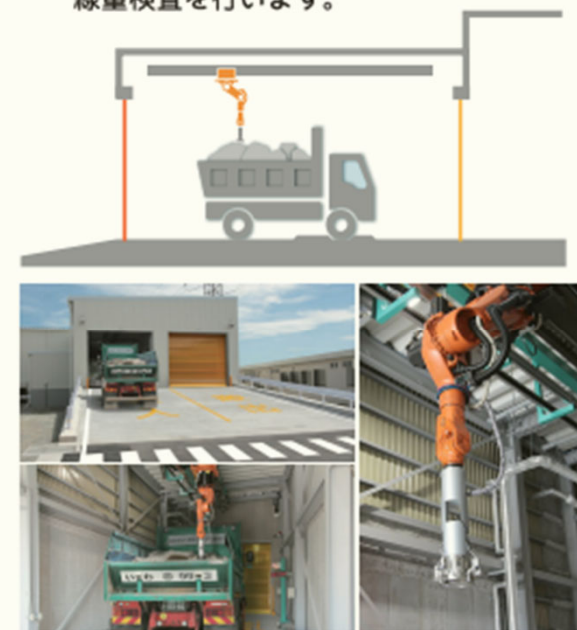
重量計測

全車両の進入・退出時にトラックスケールを用いて重量を計測。記録されます。



線量検査

積載物は自動ロボットによる線量検査を行います。



再資源化処理 | 破碎



ジョークラッシャー



ジョークラッシャーは、主にコンクリートがらを破き、「鉄筋」と「再生用コンクリート」に分けるための破碎機です。



二軸破碎機



二軸破碎機は、家具や大きな金属のかたまりを含む混合廃棄物をせん断します。



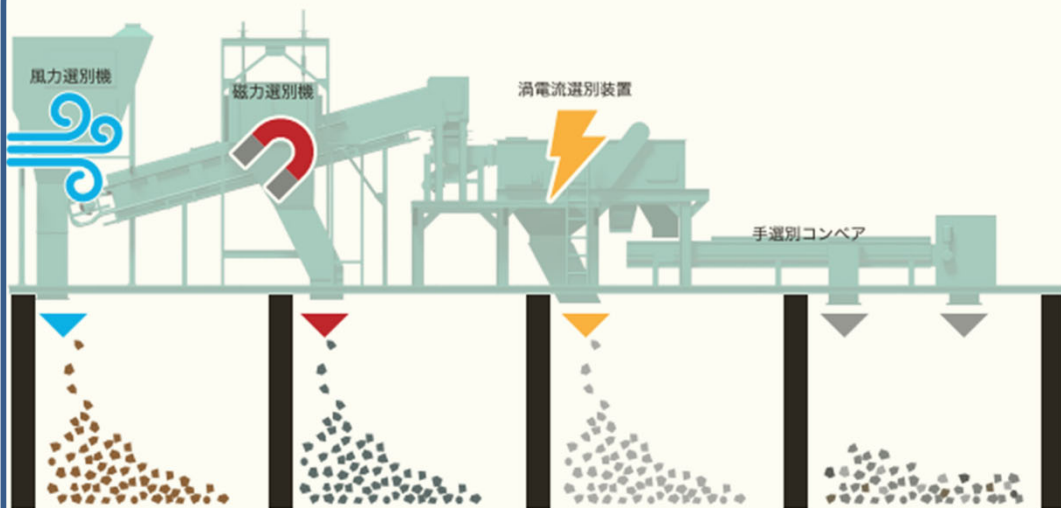
ハンマーミル



ハンマーミルは、混合廃棄物を粉碎してバラバラにし、選別機械に入れられる状態に整えます。

再資源化処理 | 選別

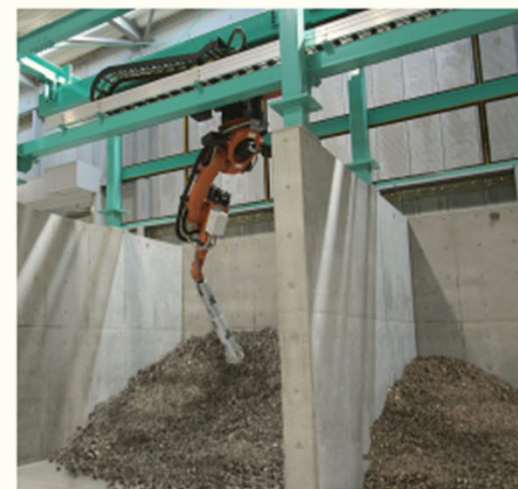
選別



放射性物質は主に表面にふちやくしていることがわかっており、粉碎・破砕の改訂で除去します。粉碎された廃棄物は、風力選別、磁力選別機、渦電流選別機によって、鉄、非鉄金属、その他の残渣に分けられて、各種再生資源と廃棄物として各ヤードに分けられます。

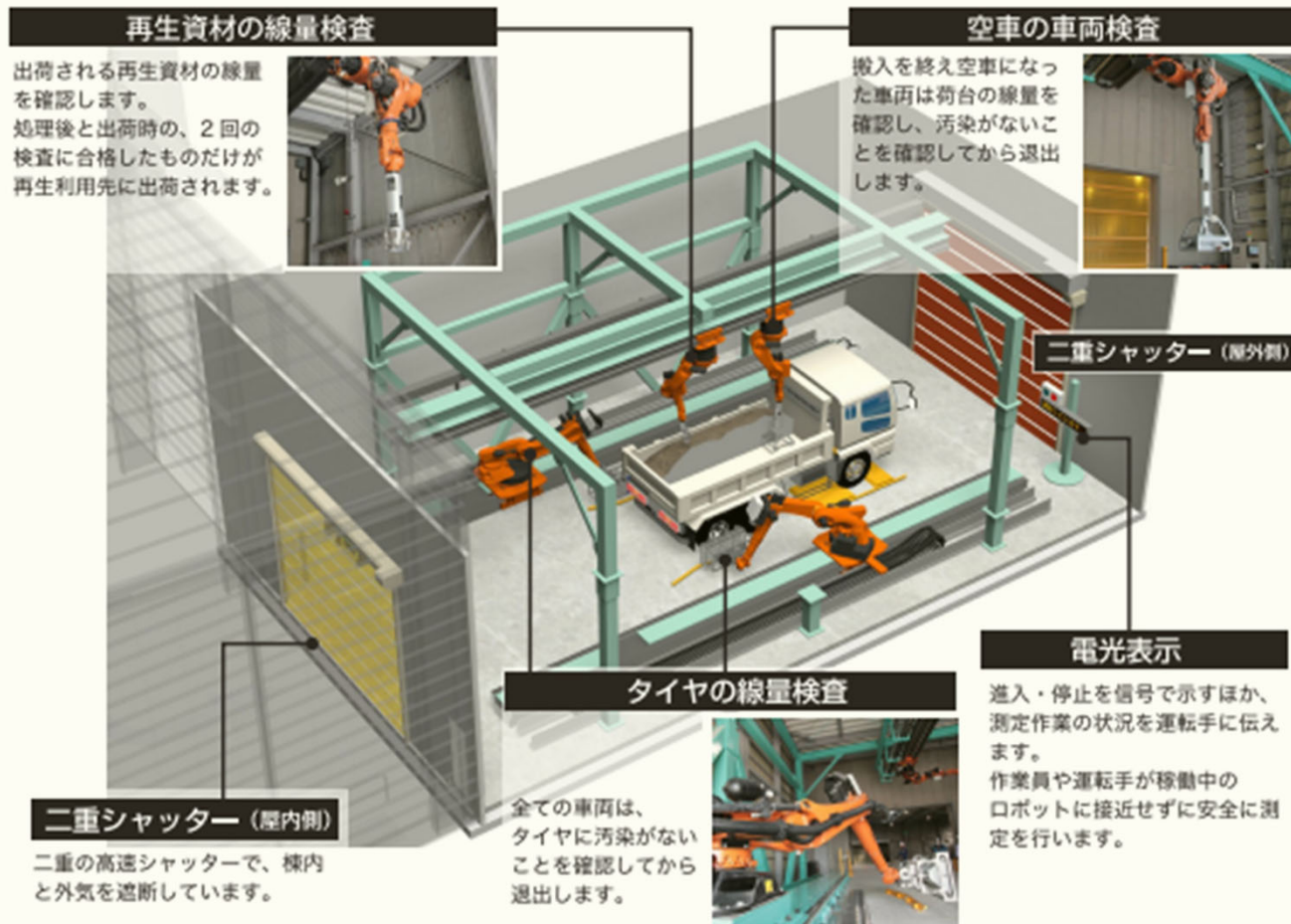
選別後の再生資源は、自動ロボットにより放射線量をチェックします。線量検査に合格したものは、出荷ヤードに保管されます。

線量測定

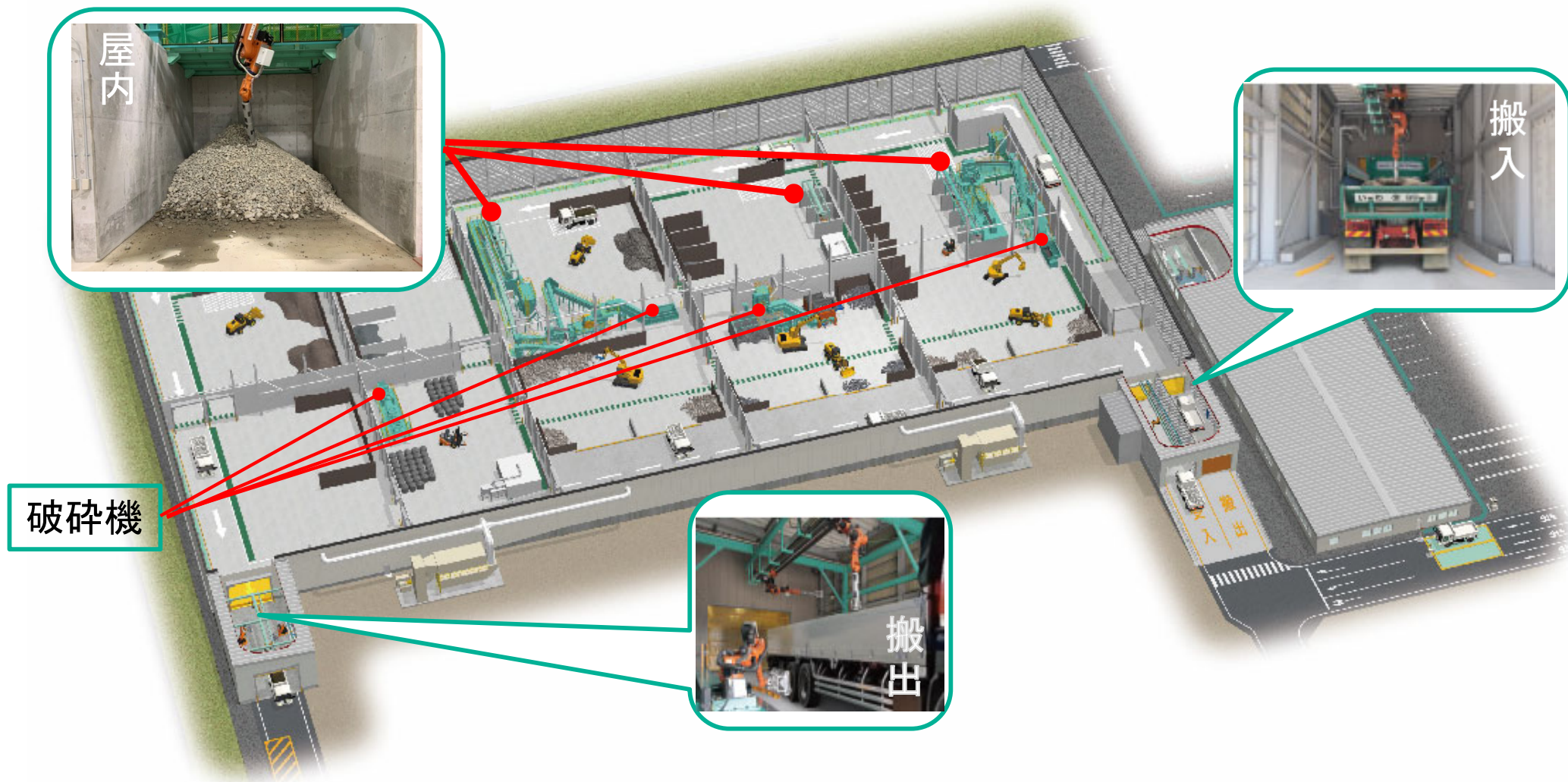


選別後の再生資源は、自動ロボットにより放射線量をチェックします。検査に合格したものは、出荷ヤードに保管されます。

退出時線量確認



再生資源は出荷時にトラックの荷台にて再度線量の確認を行います。



建屋は放射線管理区域に設定され、トラックの搬入口、搬出口には放射線量を自動計測する設備を有している。また、破碎機を通し均質化した材のヤードもロット毎に放射線量を自動計測する設備を導入し、適切な放射線管理を可能としている。

GPSによる運行管理

- 廃棄物運搬中のトラック位置情報をリアルタイムで把握
- 運行計画道路を逸脱した場合は瞬時に把握

不燃性廃棄物再資源化の対応力が高い

- タイプの異なる破砕機を複数機種保有
- 処理後は地元事業者と連携して再資源化

徹底した放射線管理

放射線測定を自動化

- 放射性物質を含む廃棄物を取り扱うことを前提
- 効率的に測定
- 安全に測定

主なイベントと操業状況

近況報告

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 2020年10月 2日 | 竣工式 |
| 2020年10月29日 | 令和2年度 環境省業務キックオフ |
| 2020年12月19日 | 加藤 前官房長官 御来訪 |
| 2021年 2月13日 | 福島県浜通り地震 震度6弱
⇒ 環境省業務延長 |
| 2021年 4月10日 | 令和2年度環境省業務 搬入完了 |
| 2021年 5月10日 | 令和3年度環境省業務開始 |

会社紹介

事業概要

今後の展望

復興・再生の加速化

これまでも実施されてきた帰還困難区域の復興・再生の取り組みにおいて、不燃性廃棄物の再資源化をこの地域で行うことで、復興・再生の取り組みがより加速することが期待できる。

雇用の創出

大熊町に設置した震災後初の民間企業であり、当社および当社の事業活動に係る周辺企業での新規雇用によって帰町を促進する。

未来志向の取り組み

太陽光パネル再資源化を取っ掛かりとして、これまでの枠組みを超えた企業間、研究機関、産官学の信頼関係に基づく連携によって、本地域での新規再資源化等の技術・事業化を検討推進する。



株式会社 相双スマートエコカンパニー
Soso Smart Eco-Company Co., Ltd.

以上